

別記様式4

24 多く市第 144 号

平成 24 年 8 月 29 日

唐木田コミュニティセンター運営協議会

会 長 橋 本 正 晴 殿

多摩市長 阿 部 裕 行

平成 24 年度コミュニティセンター指定管理者実地調査の結果について

(通 知)

このことについて、下記のとおり調査の結果を通知します。

なお、本調査結果に基づき改善すべき事項があれば、その取り組み方針について別記様式5により文書にて報告願います。

記

1. 各調査項目に対する結果

評価項目	調査結果
(1)実施計画の実施状況	本調査対象期間である前年度の実施状況についての説明を受け、聴き取りを行った結果、予定された事業は順調に進められている。
(2)経理についての管理状況	月次収支状況報告書を見て、毎月滞りなく予算執行されていること、また繰越金について説明を受け、使途や計画があることを確認した。
(3)物品の帰属等の管理状況	多摩市所有の備品の管理状況について、別途備品台帳と照合した結果、適正に管理されている。
(4)評価項目による業務評価	*別記様式3「施設所管課評価表(総括)」参照

2. 改善すべき事項

評 価 項 目	改 善 す べ き 事 項
(1)実施計画の実施状況	特になし
(2)経理についての管理状況	特になし
(3)物品の帰属等の管理状況	特になし
(4)評価項目による業務評価	特になし

別記様式3

平成24年度 **施設所管課** 評価表(総括)

唐木田コミュニティセンター運営協議会

<評価対象期間>平成23年4月1日～平成24年3月31日

評価項目	自己 評価	所管課 評価	特記事項
①広報活動を積極的に行うとともに、地域住民や利用者からの意見を聴いて、コミュニティセンターの管理運営に反映させることができましたか？	3	3	利用者懇談会を1回実施した。利用者アンケートを1回実施した。受付窓口で常時アンケート調査を実施し、掲示板にてその都度対応策等を公表している。
②周辺の自治会などコミュニティ組織や市民団体等と連携を図り、コミュニティづくりや地域課題に取り組むことができましたか？	3	3	地域連絡会を12月18日(日)に開催した。これには、自治会、管理組合、地域の医療関係者、多摩社会福祉協議会の関係者8名と運営協議会13名の参加があった。情報交換、地域防災の課題点のほか、館運営等について話し合った。
③管理運営上、集めた個人情報適切に取り扱われましたか？	3	3	個人情報については施錠できる場所に保管、パソコンにはパスワードを設定。個人情報の取扱いルールを定めている。
④職員(コミュニティスタッフ)によるコミュニティールの申請受付または使用料の収納保管など、窓口で適切に行われましたか？	3	3	受付において、利用者との大きなトラブルは特になかった。受付マニュアルが整備されている。現金と帳簿の確認は定期的(1日4回)行っている。
⑤施設の利用促進を図るため、サービス向上など事業改善に取り組んだ事例がありますか？			定期的なロビーコンサートやイベント開催により、誰でも自由に出入りできる地域交流を図った。

評価段階3⇒特に問題やトラブル等もなく適正に実施することができた。

2⇒概ね実施することができたが一部に問題やトラブル等があった。

1⇒問題やトラブル等により実施できなかつたり、実施するのに大きな支障があった。

### 【施設所管課の総括】

コミュニティセンターにとって平成23年度は、3月に発生した東日本大震災の影響への対応を迫られた1年であった。施設管理面では、コミュニティセンターに対しても例外なしで節電計画停電への協力が求められ、コミュニティセンター各館は、照明の減灯、空調の停止、輪番休館等で対応した。このことが施設利用実績の重しとなり、また、各館の事業が計画比で事業数・参加者数を減少させたことなどに影響したことは否定できない。しかし、そのような困難な状況の中でも各運営協議会は、キャンセルに伴う使用料返金事務の発生など異例の事態にも適切に対処したほか、被災地復興・被災者支援のための募金活動なども自発的に行った。これらのことは、数字には現われないが、平成23年度における各運営協議会の特筆すべき貢献であったと評価することができる。

次に、コミュニティセンター8館の運営に関する共通の評価である。

第1に、開館以来運営協議会は継続してコミュニティづくりに努め、運営協議会委員を始めとする多くのボランティアによって支えられている。第2に、利用者懇談会やアンケートを通じて地域住民や利用者の声を管理運営に反映させるとともにサービス向上に努めている。第3に、市や関係機関と連携して防犯や防災、健康や福祉など各地域のまちづくりに結びつくような事業を展開している。第4に、喫茶協力金などの収益や事業参加者からの負担金などにより、指定管理料以上の予算を編成して、利用者へのサービスの向上に努めている。第5に、個人情報保護等に配慮し、利用者の信頼維持に努めている。第6に、地域の実情に合わせた柔軟な施設運営に努め、事業運営においても地域の絆や文化の継承などそれぞれの地域の特色を活かした運営を行なっている。

最後に唐木田コミュニティセンターの個別評価である。

唐木田コミュニティセンターは、平成23年3月1日に開館したが、その直後に発生した東日本大震災の影響でオープニングイベントが中止に追い込まれるなど異例の状況下でのスタートとなった。しかし、平成23年度は実質的な初年度にもかかわらず計画した事業をほとんどすべて計画通りに実施した。しかも、地域住民等と連携して、日曜朝市、地域医療連続講座、児童館・図書館との共催事業などを実施したことは、地域に根差した活動として大いに評価することができる。ホームページを立ち上げて、運営協議会総会の議事録を公表するなど、情報公開にも積極的である。今後も地域に根差して開かれた協議会運営に努めていただきたい。

### 【今後の方向性】

市民との協働によるまちづくりを実践する当事業は、指定管理者制度の導入に際して指定管理者を「地域住民を中心として組織された団体」に限定した(多摩市立コミュニティセンター条例第3条)。この点において当事業は、他の事業とは指定管理者制度の導入目的も手段も大きく異なる。すなわち、他の事業が経費削減を目的としてしばしば民間企業の参入を求めたのに対して、本事業はコミュニティ醸成を目的としているため民間企業との連携ではなく地域住民との協働という手段をとった。その後の運営状況を見ても、各運営協議会は施設を適切に管理しており、かつ、それぞれの地域課題について積極的に取り組む事業を展開しており、コミュニティセンターは地域のコミュニティ活動の拠点として機能している。

今後も所管課では、運営協議会を指定管理者として地域住民と協働しながら施設を運営し、そこに参加する市民や自治会などの地域団体と連携してコミュニティセンターを拠点とした地域コミュニティの醸成のための事業を展開していく予定である。

※指定管理者の自己評価を踏まえ、これまでの成果や今後の改善の方向性や取り組みなどを記入